

news

# CoQ10はγ包接体が 体内への吸収を高める

米国の学術誌「ニュー  
トリションリサーチ」06年

## 米国学術誌に論文掲載

10月号に「CoQ10γ包接体のヒト吸収性について」が掲載された。シクロケム(神戸市中央区、☎078・302・7003)とワッカーケミール社、熊本大薬学部との共同研究によるものだ。

これによると、CoQ10をγ(ガンマ)CD(サイロデキストリン)で包接することで、飛躍的に体内への吸収を高めることをヒトへの投与実験で明らかにした。

研究では健康な成人男女24人を12人ずつの2グループに分け、CoQ10量として30mgを含有するCoQ10・γCD包接体、一方にはCoQ10・微結晶セルロース(MCC)混合物を経口投与し、1時間ごとに血中のCoQ

10濃度を測定した。2週間のインターバルをおいて、クロスオーバー法により血漿水濃度の推移を比較検討した。途中脱落の2人を除き、22人で血漿中CoQ10濃度の平均値を算出し、統計解析を行った。

測定期間初期値と2週間後の濃度差は濃度曲線下面積を比較したところ、18倍の差で、γCD包接による大幅な吸収性の改善が示された。

固体包接体からのCoQ10溶解速度はαCDよりβCD、さらにγCDの順に増大する。特にγCD包接体の場合、見かけの溶解度はCoQ10だけのものに比べて約300倍に増大している。固体溶解速度が大き

いことは、生物学的利用能を向上するための重要な因子の一つである。